

各 位

会 社 名 株式会社ユニバーサルエンターテインメント
代 表 者 名 代表取締役社長兼CEO兼CIO 富士本 淳
(東証スタンダード・コード 6425)
問 合 せ 先 経営企画室 佐藤 暢樹
(<https://www.universal-777.com/contact/>)

(開示事項の経過) 当社子会社による合併契約の解約及び 訴訟の提起(反訴)に関するお知らせ

2023年2月7日に開示しました「当社子会社に対する訴訟の提起に関するお知らせ」(2023年2月8日の開示により一部訂正)のとおり、当社の子会社である Tiger Resort Asia Limited (以下、「TRA」といいます。)、TIGER RESORT, LEISURE AND ENTERTAINMENT, INC. (以下、「TRLEI」といいます。)、UE RESORTS INTERNATIONAL, INC. (以下、「UERI」といいます。)及び Project Tiger Merger Sub, Inc. (以下、「Merger Sub」といいます。以下、TRA、TRLEI、UERI 及び Merger Sub を「当社子会社」と総称します。)は、当社子会社と 26 Capital Acquisition Corp. (以下、「26 Capital」といいます。)との間で締結した Agreement and Plan of Merger and Share Acquisition (以下、「本合併契約」といいます。)に関して、26 Capital より米国デラウェア州衡平法裁判所において訴訟(以下、「本訴訟」といいます。)を提起されておりますが、かかる本訴訟に関連し、今般、当社子会社は本合併契約の解約を決議し、本訴訟の手続きにおいて 26 Capital に対して下記のとおり反訴(以下、「本反訴」といいます。)を提起しましたので、お知らせいたします。

<解約通知について>

1. 解約通知日

2023年6月30日(日本時間)

2. 解約の理由

本訴訟のディスカバリー手続きにおいて判明した、下記<本反訴について>で記載している 26 Capital による様々な本合併契約の重大な違反行為及び詐欺的行為、また、2023年6月15日(米国時間)に Rimu Capital Ltd.が米国ニューヨーク州南部地区裁判所において、26 Capital 代表者である Jason Ader 氏他を相手に、Rimu Capital が行った2千5百万ドル相当の 26 Capital 株式の取引の取消の他、詐欺や米国投資顧問法違反などを理由に提訴した事実から、本合併契約に基づき、当社グループの中核事業である統合型リゾート(IR)事業のさらなる事業拡大と企業グループ価値の増大及びそのための資金調達手法や調達先の多様化を目的として UERI が 26 Capital をパートナーとして米国ナスダック市場に上場することを取りやめ、本合併契約の解約通知を行うことを決議したものです。

<本反訴について>

1. 反訴状提出日

2023年5月18日(米国時間)

2. 反訴提起の経緯及び理由

2023年2月7日に開示しました「当社子会社に対する訴訟の提起に関するお知らせ」(2023年2月8日の開示により一部訂正)のとおり、26 Capital より提起された本訴訟において、26 Capital からの主張を精査したところ、当社の認識と大きく異なることが判明し、かつ本訴訟において開示された証拠を精査したところ、本合併契約の締結及び本合併契約に基づく取引の実行過程において、26 Capital は虚偽の事実を述べ、当社の内部情報を不正に第三者に取得させるなど、本合併契約の重大な違反行為及び詐欺的行為を行っていたと判断いたしました。

このような事態を放置して本合併契約に基づく取引を継続することはできないと判断し、本訴訟において 26 Capital の責任を確認すべく、反訴を提起することといたしました。

3. 反訴を提起した相手

- (1) 名称：26 Capital Acquisition Corp.
- (2) 所在地：701 Brickell Avenue, Suite 1550, Miami, Florida 33131 United States of America
- (3) 代表者の氏名：Jason Ader

4. 反訴の内容

(別紙1) のとおり。

5. 当社子会社（反訴原告）の概要

- (1) 名称：Tiger Resort Asia Limited
- (2) 所在地：Units 1402-03A, 14/F, AIA Tower, 183 Electric Road, North Point, Hong Kong
- (3) 代表者の役職・氏名：Director 麻野憲志、Director 岡田幸子
- (4) 事業内容：投資保有
- (5) 資本金：14,638,663 千香港ドル

- (1) 名称：TIGER RESORT, LEISURE AND ENTERTAINMENT, INC.
- (2) 所在地：Okada Manila, New Seaside Drive, Entertainment City Barangay Tambo, Paranaque City 1701, Metro Manila, Philippines
- (3) 代表者の役職・氏名：President and Chief Operating Officer、Byron Yip
- (4) 事業内容：統合型リゾート（IR）事業
- (5) 資本金：8,699,745 千フィリピン・ペソ

- (1) 名称：UE RESORTS INTERNATIONAL, INC.
- (2) 所在地：New Seaside Drive Entertainment City Barangay Tambo 1701 Paranaque City, Philippines
- (3) 代表者の役職・氏名：President、Byron Yip
- (4) 事業内容：統合型リゾート（IR）事業
- (5) 資本金：12,501 千フィリピン・ペソ

- (1) 名称：Project Tiger Merger Sub, Inc.
- (2) 所在地：1209 Orange Street, Wilmington, County of New castle, Delaware 19801, United States of America
- (3) 代表者の役職・氏名：President and Director, Byron Yip
- (4) 事業内容：デラウェア州会社法上許容される活動
- (5) 資本金：0.01 米ドル

<今後の見通し>

当社といたしましては、今後本訴訟により当社側の正当性を主張してまいります。本件に関連して今後公表すべき事項が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

以 上

(別紙1)

本別紙は、関連する裁判所に提出した裁判書面における主張の要約です。これらの主張が最終的に裁判所に認められるかどうかについては、今後の裁判手続によるところであり、本別紙に記載されている当社又は当社関連会社の主張が認められない可能性があります。

本反訴の内容

1. 本訴訟の状況

2023年2月2日、26 Capital Acquisition Corp. (以下、「26 Capital」といいます。)は、デラウェア州衡平法裁判所において、2021年10月14日付の26 Capital及びUEC Parties (以下に定義します。)間の合併契約 (以下、「本合併契約」といいます。)違反について、Tiger Resort Asia Limited (以下、「TRA」といいます。)、TIGER RESORT, LEISURE AND ENTERTAINMENT, INC. (以下、「TRLEI」といいます。)、UE RESORTS INTERNATIONAL, INC. (以下、「UERI」といいます。)及びProject Tiger Merger Sub, Inc. (以下、「Merger Sub」といい、TRA、TRLEI、UERI、Merger Sub及び訴外 Universal Entertainment Corporation (以下、「UEC」といいます。)と総称して「UEC Parties」といいます。)を提訴しました。

26 Capitalは主に、UEC Partiesが、本合併契約に基づく合併 (以下、「本件合併」といいます。)のクロージングについて、本合併契約に基づき要求される合理的な最善の努力を尽くさなかったと主張しています。26 Capitalは、UEC Partiesが本合併契約に違反していることの確認、及びクロージングするために必要な手続を完了することを命じる特定履行の命令を裁判所に求めています。2023年5月31日、26 Capitalは、特定履行に対する代替的な救済としての金銭的損害賠償を求めるために、訴状を修正しています。

2. 本反訴の概要

本反訴において、反訴原告らは、主に、26 CapitalとそのCEO (以下、「Jason Ader氏」といいます。)が、自らに本件合併のクロージングに対する莫大な金銭的インセンティブがあったため、仮に米国証券法に違反したとしても本件合併を何とかしてクロージングさせるために行動したと主張し、以下の請求を行っています。

- 本合併契約は、その当事者が本件合併に関する公式発表又はプレスリリースをする前に、相手方から書面による承諾を取得することを要求しています。しかし、Jason Ader氏は、2022年後半に、反訴原告らの承諾なく、本件合併に関する報道機関による取材を受けました。また、Jason Ader氏は、彼のTwitterアカウントに本件合併についての投稿をしました。これらに基づき、26 Capitalが本合併契約に違反した旨の宣言を求めています。
- 本合併契約は、26 Capitalが、投資家に対して虚偽の又は誤解を招くような言明をすることを禁じる米国証券法に違反することを禁じています。2022年後半の公式声明において、Jason Ader氏は、反訴原告に対して主張していた見解と異なる見解を繰り返し表明しました。また、26 Capitalも、その「ファウンダー株主」を実際には誰が保有しているのか等について正確な開示を行っていないことにより米国証券法に違反したと考えられます。これらの主張等に基づき、26 Capitalが本合併契約に違反した旨の宣言を求めています。
- 本合併契約は、各当事者に対して、本件合併のために共有された機密資料を第三者に共有することを禁じています。しかし、26 CapitalはUEC Partiesの機密財務情報を、第三者のコンサルタントであるCalabrese ConsultingがUEC Partiesのために形だけの財務諸表を作成するために、UEC Partiesの同意なく、Calabrese Consultingに共有しました。これらの主張等に基づき、26 Capitalが本合併契約に違反した旨の宣言を求めています。
- 反訴原告は、UEC取締役会が本件合併の期限延長に賛成するよう、UECの取締役を納得させた2022年9月26日開催のUECでの会議において、Jason Ader氏が、さまざまな虚偽

(別紙1)

本別紙は、関連する裁判所に提出した裁判書面における主張の要約です。これらの主張が最終的に裁判所に認められるかどうかについては、今後の裁判手続によることであり、本別紙に記載されている当社又は当社関連会社の主張が認められない可能性があります。

の表示を行ったことにより詐欺 (fraud) を行ったと主張しています。例えば、Jason Ader氏は、26 Capitalの株主の90%以上が本件合併を支持し、期限延長に関する議決権行使期間中に彼らが株式を償還しないと述べたこと、UEC Partiesの監査人であるUHYは、Form F-4を更新するために必要な監査業務を4から6週間以内に完了できると述べたこと、及びUECの取締役は、期限の延長に投票しなかった場合、個人的責任を負うことになることと述べたことなどです。これらの主張等に基づき、本件合併の期限を延長した2022年9月29日付Letter Agreementが無効であることの確認及び金銭的損害賠償を求めています。

- 反訴原告は、26 Capitalが、TRLEIとUERIの取締役に対し、26 Capitalの利益のために反訴原告らの最善の利益に反する行動をとらせることで信任義務違反を幫助したと主張しています。これらの主張等に基づき、金銭的損害賠償を求めています。
- 反訴原告は、Jason Ader氏及びSPACスポンサー（これもJason Ader氏が設立したものです。）が、反訴原告らを欺き、反訴原告らに好ましくない企業結合を実行させる旨の共謀をしたと主張しています。これには、Jason Ader氏が、自らの利益のためにZama Capital Master Fund LP及びRimu Capital Ltd.に対してSPACスポンサーの経済的な持分を売却していたことが含まれます。加えて、反訴原告は、PIPE取引が、UEC Partiesのみならず全ての当事者に対して本件合併の価値を高める効果を持っているにもかかわらず、Jason Ader氏がPIPEを実現するための努力を十分に尽くさなかったことは、本合併契約に対する重大な違反であったと主張しています。これらの主張等に基づき、26 Capitalが詐欺 (fraud) に関与し、また、PIPE取引を実現するための合理的な最善の努力を怠ったことにより、本合併契約に違反したとの宣言判決を求めています。